

平成 29 年度 事業報告

法人事業概要

平成 29 年度の重点事業として、平成 28 年度末に開所、移転しました「ホームふくの実」、「ヘルパーステーション」、「福祉避難所」と各施設の有機的な連携及び各事業の推進に取り組んだ一年となりました。ホームふくの実では大きな事故もなく、安定してサービスを提供しております。ヘルパーステーションでは新たに同行援護サービスを提供しております。また南砺市総合防災訓練において福祉避難所開設訓練を行い、行政、地域との連携を確認しました。

平成 29 年 4 月 1 日社会福祉法が改正されましたが、前年度からの準備により経営組織のガバナンス強化など円滑に新体制に移行できました。

また災害対策として土砂災害を想定した避難訓練を法人として初めて実施しております。様々な災害への備えが求められる中、今後も非常災害対策計画の定期的な見直し、訓練の実地を通して、防災体制の整備に取り組んでまいります。

社会的な課題とされる福祉職員の確保については、資格取得推進・支援に関する枠組みをつくり、また処遇改善や研修制度の充実などに取り組んできております。

さて、対象となる利用者さんは多様な障害を持ち、また全般的に高齢化も進んでおります。各事業所において、個別支援計画に基づいた支援を提供しておりますが、八乙女では新たに「ゆうゆうコース」を設けるなど個々の利用者に応じた支援を展開しております。

今後も利用者さんから「選ばれる法人」であると共に、多くの人材に働きたいと思われる法人となるべく魅力ある職場づくりを進めてまいります。

法人財務状況

経済状況の厳しさが予測された中でしたが、平成 29 年度も安定した経営を行うことができました。

法人全体の財産の内訳は、資産の部で、現金預金等の流動資産総額 443,407 千円、土地、建物、備品等の固定資産総額 1,028,566 千円で、資産合計は 1,471,973 千円。

負債の部は、流動負債総額 75,963 千円、固定負債総額 69,928 千円で、負債合計 145,891 千円となり、差し引き純資産は 1,326,082 千円で、前年度末より 15,011 千円増となりました。

また、定員に対する利用率が向上したことで、各拠点区分において事業活動収入が前年度実績を上回っております。特に定員を増員した「すてっぷ」におきましては、就労支援事業収益が若干減少したものの、障害福祉サービス等事業費収入が大きく伸び増収となりました。

施設整備の面では、雨漏りが発生しておりました八乙女寮棟の外壁を補修しております。併せて居室の内壁塗装工事も行いました。その他、リハビリニーズの高まりからリハビリ室の増設、Wi-Fi 環境の整備、送迎車両の充実など行いました。

これらの整備により利用者さんの快適かつ安全な日常生活や、より充実したサービスを提供することができました。特に八乙女寮棟の外壁補修工事においては、事業実施に当たり補助を賜りました公益財団法人 J K A 並びに関係各位のご理解とご支援に改めまして感謝申し上げます。